

|       |                                |            |
|-------|--------------------------------|------------|
| 管理番号  | 検査項目                           | 掲載日        |
| 3-A-2 | ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（SPAGEL シリーズ） | 2010-11-02 |

## 1. 適用

適用を表 1 に示します。

表 1. 適用表

| 巻上機型式        | 記事          |
|--------------|-------------|
| MX06 シリーズ    | 巻上機昇降路上部設置型 |
| MX10 シリーズ    |             |
| MX20 シリーズ    |             |
| SSE-250 シリーズ | 巻上機ピット設置型   |

尚、MX06A J1、MX06A J2 など型式の展開を MX06 シリーズと総称します。  
他の型式についても同様です。

| 管理番号  | 検査項目                            | 掲載日        |
|-------|---------------------------------|------------|
| 3-A-2 | ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (SPAGEL シリーズ) | 2010-11-02 |

## 2. 検査方法

### 2. 1 巻上機型式 : MX06シリーズ、MX10シリーズ、MX20シリーズ

ドラム式のブレーキを採用しています。ブレーキの概略図を図1に示します。

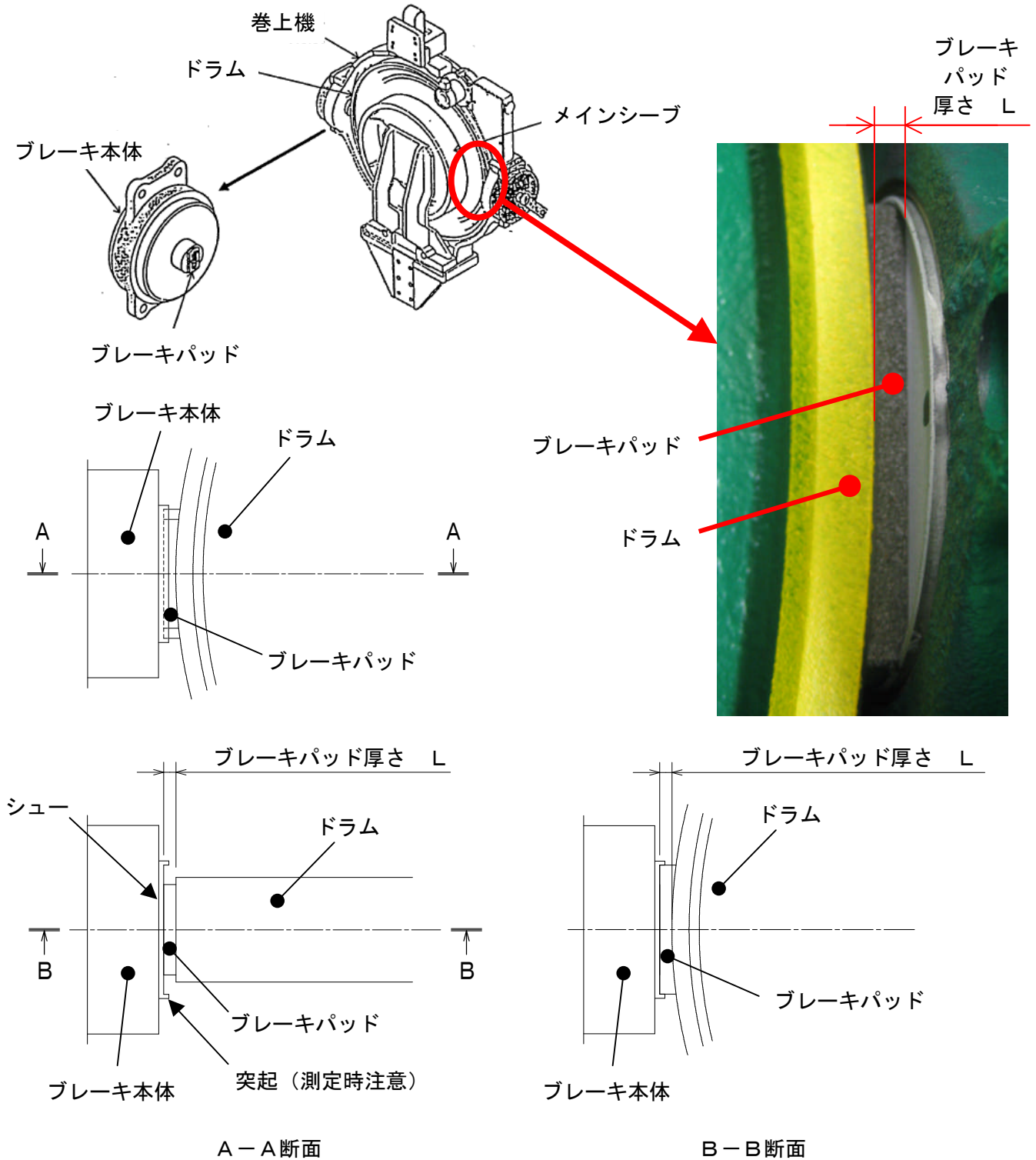


図1. ブレーキ概略図

| 管理番号  | 検査項目                           | 掲載日        |
|-------|--------------------------------|------------|
| 3-A-2 | ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（SPAGEL シリーズ） | 2010-11-02 |



## 注意事項

作業を行う際は、以下の点に注意してください。

- ・この型式の巻上機には2つのドラム式ブレーキが装着されています。
- ・2つのブレーキ個々に確認を行ってください。  
2つのブレーキは電氣的に連動して動きますが、機械的には連動していません。

- (1) かご固定装置でかごが固定されている事を確認してください。
- (2) ブレーキシュー外周の突起に注意してブレーキパッドの厚さ（L）を確認し、表2により判定を行ってください。要重点点検の場合は、重点点検を実施しブレーキユニットの交換準備を行ってください。要是正の場合は、速やかにブレーキユニットを交換してください。
- (3) 各部測定終了後、確実に復帰してください。

| 管理番号  | 検査項目                            | 掲載日        |
|-------|---------------------------------|------------|
| 3-A-2 | ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (SPACEL シリーズ) | 2010-11-02 |

## 2. 2 巻上機型式：SSE-250シリーズ (巻上機ピット設置型)

電磁ディスク式のブレーキを採用しています。ブレーキの概略図を図2に示します。

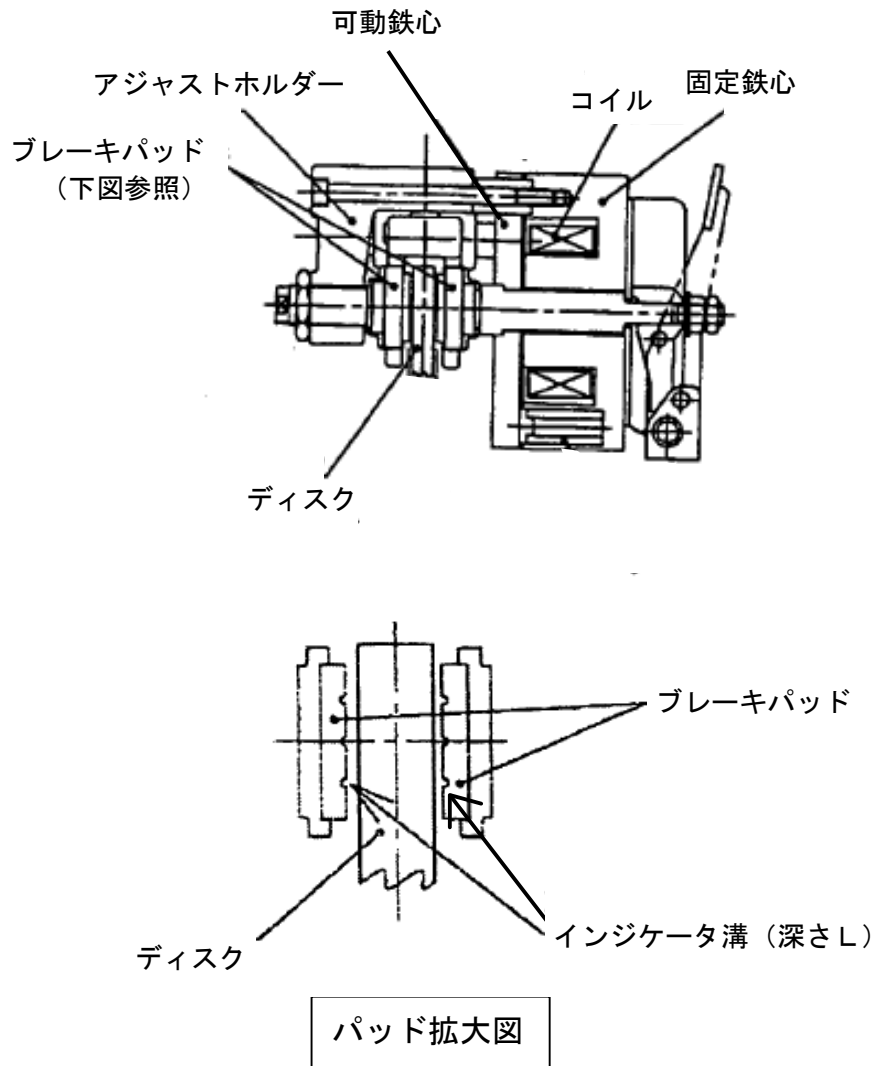


図2. ブレーキ概略図

| 管理番号  | 検査項目                           | 掲載日        |
|-------|--------------------------------|------------|
| 3-A-2 | ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（SPAGEL シリーズ） | 2010-11-02 |



## 注意事項

作業を行う際は、以下の点に注意してください。

- ・この型式の巻上機には2つの電磁ディスク式ブレーキが装着されています。
- ・2つのブレーキ個々に確認を行ってください。  
2つのブレーキは電氣的に連動して動きますが、機械的には連動していません。

(1) かご固定装置でかごが固定されている事を確認してください。

(2) 図2のように、ブレーキパッド摺動面にはインジケータ溝（初期深さ 1.5mm）がついています。インジケータ溝の深さ（L）を確認し、表3によりブレーキパッドの判定を行ってください。なお、ブレーキパッドはディスクの両面側に1個ずつ装着されており、個々に対して確認が必要です。要重点点検の範囲となった場合は、重点点検を実施しブレーキパッドの交換準備を行ってください。要是正の場合は、速やかにブレーキパッドを交換してください。なお、ブレーキパッドの交換を行う際には、ディスク両面側のブレーキパッドを両方とも交換してください。

(3) 各部測定終了後、確実に復帰してください。

|       |                                |            |
|-------|--------------------------------|------------|
| 管理番号  | 検査項目                           | 掲載日        |
| 3-A-2 | ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（SPAGEL シリーズ） | 2010-11-02 |

### 3. 判定基準

#### 3. 1 巻上機型式：MX06シリーズ、MX10シリーズ、MX20シリーズ

表2. 判定基準

| 巻上機型式        | 測定寸法 L mm            |           |                  |            |
|--------------|----------------------|-----------|------------------|------------|
|              | 初期                   | 正常        | 要重点点検            | 要是正        |
| MX06<br>シリーズ | $L = (5) \text{ ※1}$ | $L > 3.5$ | $3.5 \geq L > 3$ | $3 \geq L$ |
| MX10<br>シリーズ | $L = (5) \text{ ※1}$ | $L > 3.5$ | $3.5 \geq L > 3$ | $3 \geq L$ |
| MX20<br>シリーズ | $L = (5) \text{ ※1}$ | $L > 3.5$ | $3.5 \geq L > 3$ | $3 \geq L$ |

※1 測定寸法Lの初期の値は参考値を示しています。

#### 3. 2 巻上機型式：SSE-250シリーズ（巻上機ピット設置型）

表3. 判定基準

| 巻上機型式           | 測定寸法 L mm |           |                  |         |
|-----------------|-----------|-----------|------------------|---------|
|                 | 初期        | 正常        | 要重点点検            | 要是正     |
| SSE-250<br>シリーズ | $L = 1.5$ | $L > 0.5$ | $0.5 \geq L > 0$ | $L = 0$ |